

# 社団法人全日本川柳協会

## 平成 22 年度第 1 回通常総会議事録

(平成 22 年度 2010 - )

日 時 平成 22 年 6 月 13 日 (日)  
場 所 鳥取市尚徳町 101-5  
とりぎん文化会館

# 平成 22 年度第 1 回通常総会議事録

社団法人全日本川柳協会

1、日 時 平成 22 年 6 月 13 日 ( 日 ) 10 : 10 ~ 11 : 30

2、場 所 とりぎん文化会館 鳥取市尚徳町 101-5

## 3、出席者の確認

出席者数 69 名・委任状出席 203 名・合計 272 名

正会員現在数 393 名の内上記のとおり定足数 197 名に達しており、よって定款第 27 条により当総会の決議事項は有効であることを確認した。

## 4、議事録署名者選出

浪越 靖政、久保田元紀の 2 氏を議事録署名者として選出した。

## 5、議事

大野英雄理事長が議長となり挨拶ののち、次の事項を審議決定した。

### 第 1 号議案 平成 21 年度事業報告の件

事業に関する事項 ( 本田事務局長説明 )

会議に関する事項 ( 本田事務局長説明 )

議案書に基づきこれらを一同に諮ったところ、全員一致これを承認した。

### 第 2 号議案 平成 21 年度収支決算報告、監査報告及び承認の件

本田事務局長から平成 21 年度収支決算について説明があり、これについて住田監事から収支計算書、貸借対照表、財産目録など帳簿・伝票と照合して監査した結果正しく記載、運用されていた、また、事業運営についても適切であると認められた旨の報告があった。

以上につき一同に諮ったところ原案通り、異議なく全員一致これを承認した。

### 第 3 号議案 理事・新常任幹事選出の件

今川会長逝去にともなう理事の選任について提案がなされた。

大野理事長を会長、竹本副理事長を理事長、久保田理事を副理事長、岡崎理事を常務理事、埼玉県・佐藤美文 ( 雅号・美文 )、愛媛県・井原満子 ( 雅号・みつ子 ) をそれぞれ新理事に選任する。

理事会推薦による常任幹事の委嘱について提案がなされた。

選任された常任幹事の氏名 東京都・尾藤一泉、兵庫県・矢沢和女

、 について一同に諮ったところ被推薦者全員を選任することを異議なく全員一致これを承認した。

なお、被選任者はいずれもその就任を承諾した。

第4号議案 平成23年度全国大会開催の件

議長から議案書に基づき、仙台大会、国民文化祭きょうと、第15回誌上大会(平成柳多留)の選者および課題について諮ったところ、全員一致でこれを承認した。

第5号議案 10年以上連続全国大会出席者等表彰の件

議長から議案書に基づき、表彰該当候補者について諮ったところ、全員一致でこれを承認した。

10年以上大会連続出席者に対して表彰の件

10回連続大会参加者 白勢朔太郎・川合 笑迷・梅沢きく恵  
佐々木八寿・阿部 儀一・安藤 キミ

15回大会連続参加者 竹内いつみ

マスコミ柳壇の指導を10年以上行った者

植木 利衛・庄司登美子・進藤すぎの  
80歳以上の功労者顕彰 浅野 滋子・田頭 良子・高田美代子

橋田呂久朗・進藤すぎの

第3回川柳文学賞 河村 啓子

第6号議案 報告、その他

平成22年度助成金の件

芸術文化振興基金に対する平成22年度助成金申請の結果、70万円と内定したので、これにともない事業の拡充を行いたい旨の提案があった。

来年の第35回仙台大会の準備状況について説明があった。

平成24年度の全国大会開催地は兵庫県と徳島県が候補として挙がっている。

(後日、徳島県より正式に承諾の連絡があった。)

江畑哲男常任幹事より「今川乱魚さんを偲ぶ会」の経過報告があった。5月末に各柳社に案内を発送し、6月11日現在、返信154通、出席者35名。今後、川柳界だけでなく、今川乱魚前会長のお付き合いのあった方々に案内をする予定。

日川協本部の事務局次長として吉道航太郎氏を推薦したい。

新潟県・菅原常任幹事より公募川柳への関わり方について質問があり、公募川柳はじっくりと考えていくべき問題であり、加盟柳社の皆様の意見を参考に対応していく必要があると議長より返答があった。

熊本県・平田理事より、8月9日に常任幹事会を開催する旨の連絡があった。

弓削川柳社・恒弘衛山氏より国民文化祭おかやまのPRがあった。

以上、～ について諮ったところ、全員一致でこれを承認した。

以上により本日の議事を終了し、議長から謝辞を述べたのち閉会を宣した。